



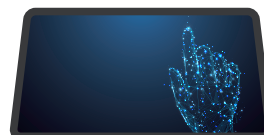
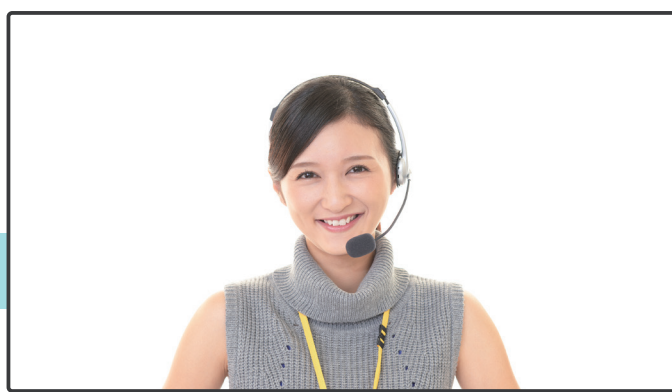
シスコのパーソナル コミュニケーションスポット

Cisco Remote Cube

行政や医療、教育、法律や金融のような専門サービスなど
プライバシーに配慮する必要があるサービスをリモートで提供できる
安心、安全、快適な「ニューノーマル」対応オールインワン IT ブース



* 開発中の外観イメージ。



高品質なビデオ会議システム、タッチ操作パネル、書画カメラやプリンタなど、リモートコミュニケーションによる各種サービスの実現に必要な機器を完備。
シスコならではのネットワークセキュリティはもちろんのこと、AI 対応スマート防犯カメラやスマートロックによる物理セキュリティも万全。
空間除菌装置や抗菌機器によって感染症対策も OK、消防法にも準拠したパーソナル コミュニケーションスポット。

——行政におけるユースケース——

サービスを提供する側のメリット

- リアルな窓口と同等のサービスを、職員を出向させることなく、場所を問わず提供可能
- 職員は在宅でも対応可能
- 庁舎など、リアルな窓口への来訪者減による三密対策にも効果
- 機器や資材の雑多な組み合わせを考慮する必要がなく、シンプルに調達および導入可能
- 予約管理システムを組み合わせれば、職員など人的リソースを効率的に配分可能



マイナンバーとの連携で、さらに便利に！



4G/5G によるインターネット接続をサポート
電源があればどこにでも設置可能

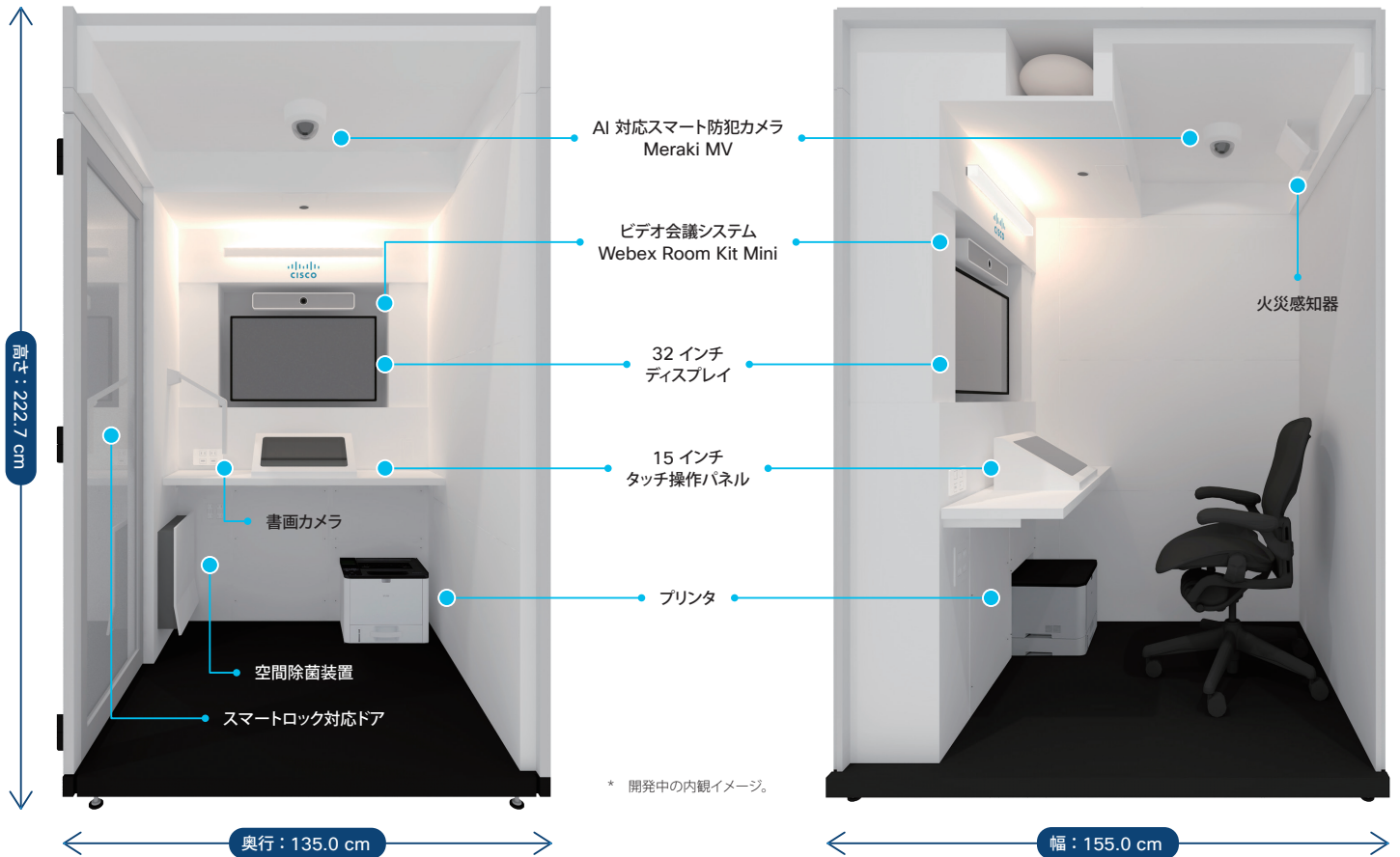


駅やコンビニ、商業施設、商店街、図書館、郵便局など、
住民が日常的に訪れるさまざまな施設で行政サービスを実現

サービスを利用する側のメリット

- リアルな窓口と同等のサービスを、遠方の庁舎に出向くことなく、ふだんの外出先で利用可能
- 自分だけのパーソナルスペースだから、ひと目を気にすることなく安心快適
- 複数のサービスを利用する場合も、いくつもの窓口を移動する必要がなく、1つの窓口（ワンストップ）で OK
- 予約管理システムを組み合わせれば、窓口の混雑や行列、待合室の密集にわずらわされることなく、計画的に利用可能

* 当該自治体の条例などに準じた運用となります。



—導入事例：フランス ニース市—

フランスのニース市では、Cisco Remote Cube の原型となるスマートな遠隔自治体サービスを「SPOT Mairie」という名称でショッピングモールに展開。次のようなサービスを実現しました。

- 30 以上の自治体サービスを提供 / 利用可能
- 自治体の専門家と市民が遠隔でビデオコミュニケーション可能
- ショッピングモールの営業時間と同じ稼働時間

その結果、自治体の専門家からは「より幅広く、より詳細なサービスを提供できる」、市民からは「使いやすい」「スピーディ」といった好評価が得られました。当時のニース市長も「非常に優れたサービス」と太鼓判を捺しています。

自治体の専門家と市民が遠隔でビデオコミュニケーション



ショッピングモールに設置された「SPOT Mairie」

©2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は 2020 年 10 月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

シスココンタクトセンター

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。
 製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

お問い合わせ先

お電話での問い合わせ

平日 10:00-12:00, 13:00-17:00

0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム

https://www.cisco.com/jp/go/vdc_callback

